

第 90 回 CSR-BOP ウォッチの会合

『LDCs 未電化家庭に明かりを届ける BOP ビジネスとその地平』

松尾 直樹
(株) PEAR カーボンオフセット・イニシアティブ
代表取締役

2016 年 1 月 13 日 (水) 19:00 - 21:00

場所： 経済産業省本館 1 3 階西 8 会議室 (定員 30 名程度)

(地下鉄霞ヶ関、虎ノ門、内幸町)

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 - 3 - 1

経済産業省への地図 http://www.meti.go.jp/intro/index_access.html

[講演内容]

PEAR カーボンオフセット・イニシアティブは、バングラデシュとエチオピアにおいて、日本技術による戸別ミニ・ソーラーホームシステムを、未電化家庭に普及させるビジネスを展開しようとしている。その背景となる哲学や、中小企業がこのような活動をビジネスとして展開するにあたってのポイントなどを紹介する(気候変動の観点なども含む)。加えて、自社チャンネルを持たない日本企業が、CSR の観点から、このような他社活動を活用する/参加するというアプローチを論ずる。

[講師略歴]

大学大学院は、基礎物理学で博士号を取得したが、その後、地球サミット(1992年)の前に地球温暖化問題に転身し、(財)日本エネルギー経済研究所、(財)地球環境戦略研究機関などのシンクタンクで温暖化の政策措置等の研究を行った。京都議定書のルール合意(2001年)を機に、コンサルタントとして(有)クライメート・エキスパーツを立ち上げ、世界最初のCDM方法論承認などの実績を持つ、途上国のエネルギー問題解決に興味を持ち、そのためのプロジェクト開発会社PEARを2007年に設立。慶応大学SFCの非常勤講師なども兼ねる。四半世紀の経験を持つ気候変動問題の専門家。